

2016.11.17 教授会議事要旨

赤門総合研究棟 5 階センター会議室

開 会：13時00分

閉 会：14時10分

出 席：27名

前回教授会（2016.10.20）議事要旨等は、確認の上、原案どおり了承された。

通知報告事項

1) 所内事情

所長から、教職員の人事異動及び別紙1に基づき客員研究員について報告があった。

2) 所外関係

所長から、前回教授会以降の全学及び学外の情勢について報告があった。

3) 所内関係

所長から、前回教授会以降の所内情勢について報告があった。

① 諸報告

a. 今年度の行事

所長から、以下のとおり、今年度の行事の実施報告及び今後の予定について説明があった。

- ・『『ガバナンスを問い直す』I・IIをめぐって』合評会（11月8日（火）15:00～17:00、福武ホール）
- ・第28回社研シンポジウム（国際シンポジウム）「知識経済をジェンダー化していく」（11月13日（日）13:00～17:00、福武ホール）
- ・東アジア日本研究者協議会第1回国際学術会議（11月30日～12月3日、仁川）
- ・社研の周年事業（2017年2月14日（火）午後、山上会館）

② 海外出張〔報告・変更・取消〕〔別紙2〕

所長から、別紙2のとおり報告があった。

各委員会の報告

1) 予算委員会 なし

2) 研究戦略委員会

副委員長から、①社研セミナーの開催予定。②今年度の所内プロジェクト支援経費後期分の募集について報告等があった。

所長から、11月10日（木）に人事に関する研究戦略委員会を開催し、今後の人事の展望等について意見交換をしたことについて報告があった。

3) 研究倫理審査委員会

委員長から、11月15日（火）に委員会を開催し、2件の申請について審査したことについて報告があった。

4) 全所的プロジェクト研究運営委員会

委員長から、①11月14日（月）、15日（火）に、所長をはじめとする社研教職員16名他で、釜石市を訪問したこと。14日には、釜石市役所にて、危機対応研究センターの設立に関する覚書

の締結を行い、全所的プロジェクト研究の期間中に釜石における危機対応調査などの研究拠点として活動することとなったこと。②同じく 11 月 14 日（月）には釜石 PIT にて、東京大学釜石カレッジと共催のシンポジウム『釜石と希望学のこれからー「危機対応学」始めます！』を開催したこと。③11 月 15 日（火）には、これまで作成してきた危機にまつわる意識や行動に関するアンケート調査の内容について、釜石市役所関係者に対するヒアリングと意見交換を行い、来年早々に実施することを計画していること。④同じく 11 月 15 日（火）には、釜石市内における被災地の現状ならびに課題に関する現地視察調査を行ったこと。その知見は、今後の危機対応学・釜石調査に適宜活用される予定であること。⑤前回教授会でも報告したとおり、11 月 22 日（火）に危機対応学とメリディアン 180 との今後の協働などについて、協議する予定であること。⑥12 月 20 日（火）にワークショップを開催予定であること。以上 6 点について報告等があった。

5) 図書委員会

委員長から①今年度予算に若干余裕があること。ただし、来年度以降は図書予算減額となる見込みなので、今後必要となる見込みのものがあれば、12 月 20 日（火）までに図書室まで申請願いたいこと。②前回教授会でお知らせしたとおり期間限定で図書室内に古本募金ステーションを設置し、寄付金額を東京大学基金に入金したこと。③地下書庫に貴重書室をつくるため、新書庫から貴重書をピックアップする作業を障害者集中雇用プロジェクトチームに依頼し、11 月 18 日（金）～30 日（水）までの 6 日間、図書室書庫内で作業予定であること④附属図書館の大型コレクションの募集について、今月アナウンスを予定していること。正式に通知が届き次第、所内周知予定であること、締切は 12 月 5 日（月）を予定しているので、準備願いたいこと。以上 4 点について報告等があった。

6) 新図書館に係る検討委員会

担当教員から、アジア図書館研究部会の状況について、4 階は配架が 4 万 5 千冊程度の見込みで、それ以外は地下書庫となる見込みであること。社研から供出するものも 2 割程度配架となれば良い方である見込みで、本来であれば、そろそろどのような書籍を配架するかという基本ポリシー策定の時期だが、組織的な位置づけの部分が依然として未定であること等について報告があった。

7) 情報システム委員会

委員長から、utroam 不調に伴い、緊急措置として学振特別研究員、客員研究員への優先ネットワークの提供を始めたことについて報告等があった。

8) センター運営委員会〔資料 5〕

委員から、資料 5 に基づいて、調査基盤分野、社会調査分野、計量社会分野の活動について報告があった。

9) 現代中国研究拠点運営委員会

委員長から、11 月 26 日（土）、12 月 15 日（木）にセミナーを開催予定であること。詳細はウェブサイトに乗せているので、興味のある方は参加願いたいことについて報告等があった。

10) 紀要編集委員会

委員長から、今年度リサーチシリーズは 1 枠空があるので、希望があれば速やかに申請願いたいこと。来年度の紀要 2 号についてはうまりつつあり、リサーチシリーズは 3 枠空があること。社研の紀要のバックナンバーの紙媒体の保存状態の問題があり、電子化等の作業が複数年度に小分けして実施することとなる見込みであること。もし、各研究室に保存してある場合は処分前に連絡願いたいことについて報告等があった。

11) SSJJ 編集委員会

委員長から、①20 号は非常に良い出来であること。21 号は海外からの関心が高そうなので期

待していること。今後も何か特集号にふさわしいテーマがあれば投稿願いたいこと。②ISS-OUP Prize の受賞論文が決定したこと。以上 2 点について報告等があった。

12) 広報委員会 なし

13) 東大釜石カレッジ運営委員会

担当教員から、今年度いっぱいでの東大釜石カレッジの閉鎖が正式に決定したことについて報告があった。

14) その他の所内委員会〔資料 6〕

担当教員から、ベネッセ共同研究に関して、資料 6 に基づいて、2016 年度調査については現在データクリーニング中であること。年明け 2 月～3 月に速報版とプレスリリースを予定していること。来年の調査に関して準備を進めていること。12月16日（金）にボード会議を予定していることについて報告等があった。

15) 全学委員会

担当教員から、既に周知されているとおり、平成 28 年度のイエール大学への派遣教員支援の募集をしているので、奮って応募願いたいことについて連絡があった。

協議事項 A

1) 客員研究員の受入

所長から、提案があり、承認された。

2) 客員研究員の期間変更・取消・修正等 なし

3) 学外委員等の委嘱〔資料 7〕

所長から、資料 7 のとおり提案があり、承認された。

4) 奨学寄附金 なし

5) 共同研究の受入 なし

6) 受託研究の受入 なし

7) 各種研究員の受入・期間変更 なし

8) その他 なし

協議事項 B

9) 2016 年度人員配置

所長から、資料 8、資料 9 のとおり提案があり、承認された。

① 委員会配置・室体制表〔資料 8〕

② 部門配置

③ 非常勤講師等〔資料 9〕

協議事項 C

10) 2017 年度本郷文系研究所フロンティア講義について〔資料 10〕

所長から、資料 10 に基づいて提案があった。これは昨年度から研究所の学部教育の貢献として、

3文系研究所（社研、史料編纂所、東文研）により開講されているもので、2017年度の講義計画について担当教員から説明があり、承認された。

協議事項 D なし

その他

11) 特任研究員（DDI 担当）推薦依頼〔資料 11〕

所長から、資料 11 のとおり推薦依頼があり、センター運営委員から説明があった。

また推薦締切日については、12月22日（木）17：00までとすることについて補足説明があった。

雑件

- ・東京大学永年勤続表彰
- ・2016年スケジュール表〔資料 12〕
- ・忘年会 12月15日（木）教授会后（17時30分から）センター会議室

次回教授会までの予定

所長から、次回教授会までの行事予定について、説明があった。